

大下 達哉 教育長殿

小中学校のことを考える会 天神山

## 今後、市民説明会でなく地域懇談会に変更すると

### 表明した件についての再質問

4月14日に上記の件で質問状を提出し、お忙しい中4月末日の期限までに回答をいただき誠にありがとうございます。しかし、文書回答のため内容を深めて理解する事が困難な面があります。そこで改めて再質問というかたちで私たちが理解できるようていねいにお答えしていただければと思います。前回同様文書にて、5月28日までをお願いいたします。

- 1、市民説明会時、教育長は全て出席されていまして、教育総務部長の「説明は今回で終わりではありません。」との発言は教育委員会の総意であったと考えられます。その後、議会の答弁で変更されたようですが、説明会に出席されていた市民に対する責任はどうお考えですか。教育委員会としての「公言」を取り消した点、謝罪するお気持ちはおありですか。又、議会への対応で変更されたのであれば経過をきちんと市民に説明すべきですが、今回の回答では謝罪や説明はありません。
- 2、市民説明会時、提案理由の一つに「将来人口減が予想されるので税収は減る。」と言われていましたが、現在では財政問題は関係がないように表明されています。提案の理由の一つがなくなったのですから、説明会は一からやり直す必要があると思います。説明会の再開を求めますが、どうお考えですか。
- 3、この決定は「定例教育委員会における協議も経て」とあります。協議というのは報告事項や協議事項なのか、はっきりしません。教育委員の討議を経て決定事項として処理されていますか。
- 4、校区懇談会のメンバーは「それぞれの地域で主体的に決定していただくもの」と回答がありますが、それならなぜ学校協議会委員等というような例示をされたのですか。この例示は必要ないと思いますが。
- 5、天神山連合町会、市民協の要請書をホームページに載せたかどうかなどと聞いているのではありません。地元は計画反対見直しを求めているのです。教育委員会がこの要請書をどう受け止めたかを聞いているのです。態度を表明して下さい。

- 6、校区懇談会を非公開にする理由に条例の規定をあげていますが、教育長も発言の中に「将来の岸和田の子どもたちのために」と発言されており、きわめて大きな市民の関心事です。広報などに日時、場所の公開は当然であり、せめて傍聴は認めるべきでしょう。非公開にする市の会議のほとんどは「人事案件」のみ非公開にしていますが、校区懇談会は「人事案件」ではありませんね。
- 7、小学校区単位の懇談会にしたいようですが（仮称）葛城小中一貫校の場合3小学校と葛城中学校があわさるのですから、施設内容、教育内容、通学方法など葛城の谷といった広がりの中でしか話し合いができないと思いますが、「小学校区」とした理由はなぜですか。

